

令和5年度 熱田区 区民アンケート
アンケート結果

令和6年3月
熱田区役所

調査の概要

1. 調査の目的

区政運営方針に対する区民の意見や取り組みへの評価等を把握し、区将来ビジョンの成果指標の現状値計測を含め、今後の区政運営のための基礎資料とする。

2. 調査の地域

名古屋市熱田区の全域

3. 調査の対象

区内居住の18歳以上の男女1,200人

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送調査及びオンライン調査

6. 調査期間

令和5年6月23日～7月13日

7. 回答者数

501人（回答率41.8%）

【内訳】

郵送での回答 359人（71.7%）

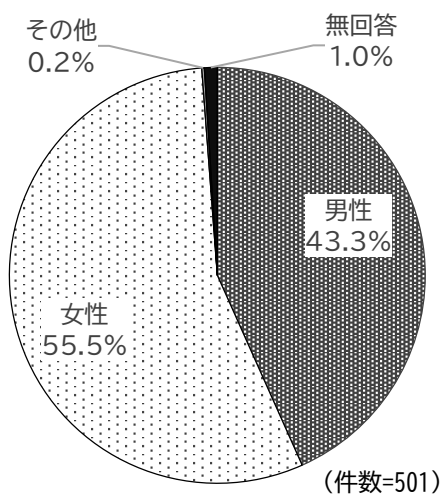
オンラインでの回答 142人（28.3%）

調査の結果

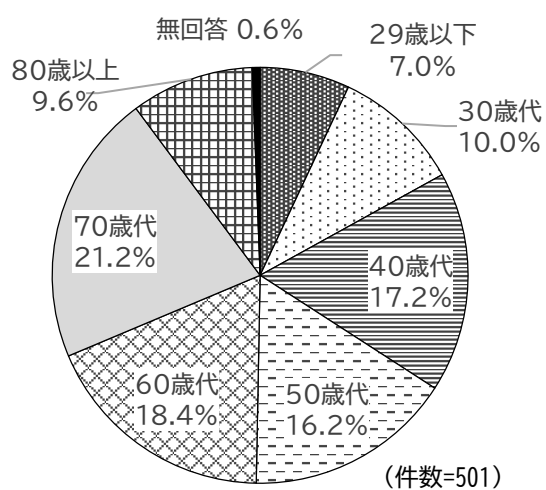
1 あなたご自身のことについて

1-1 対象者の属性

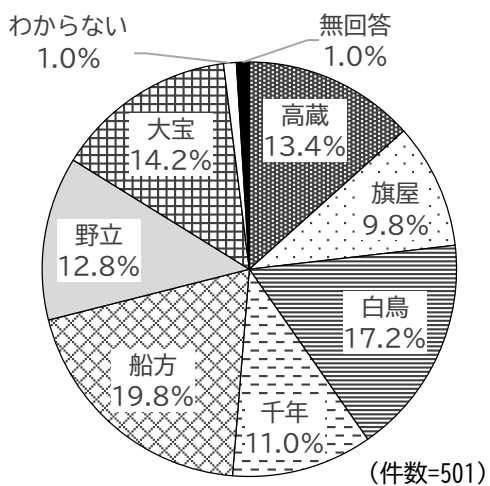
■性別



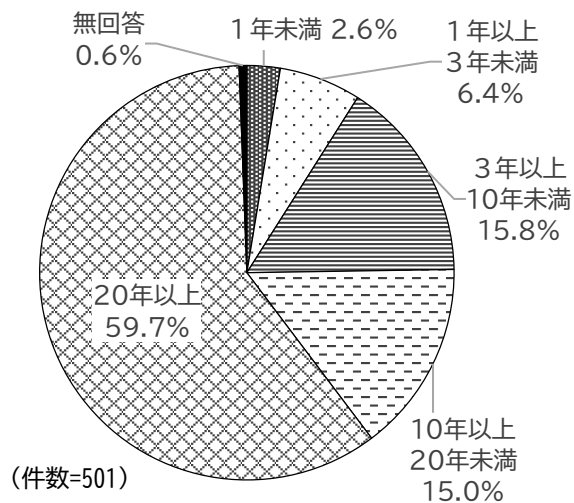
■年齢



■居住学区



■居住年数

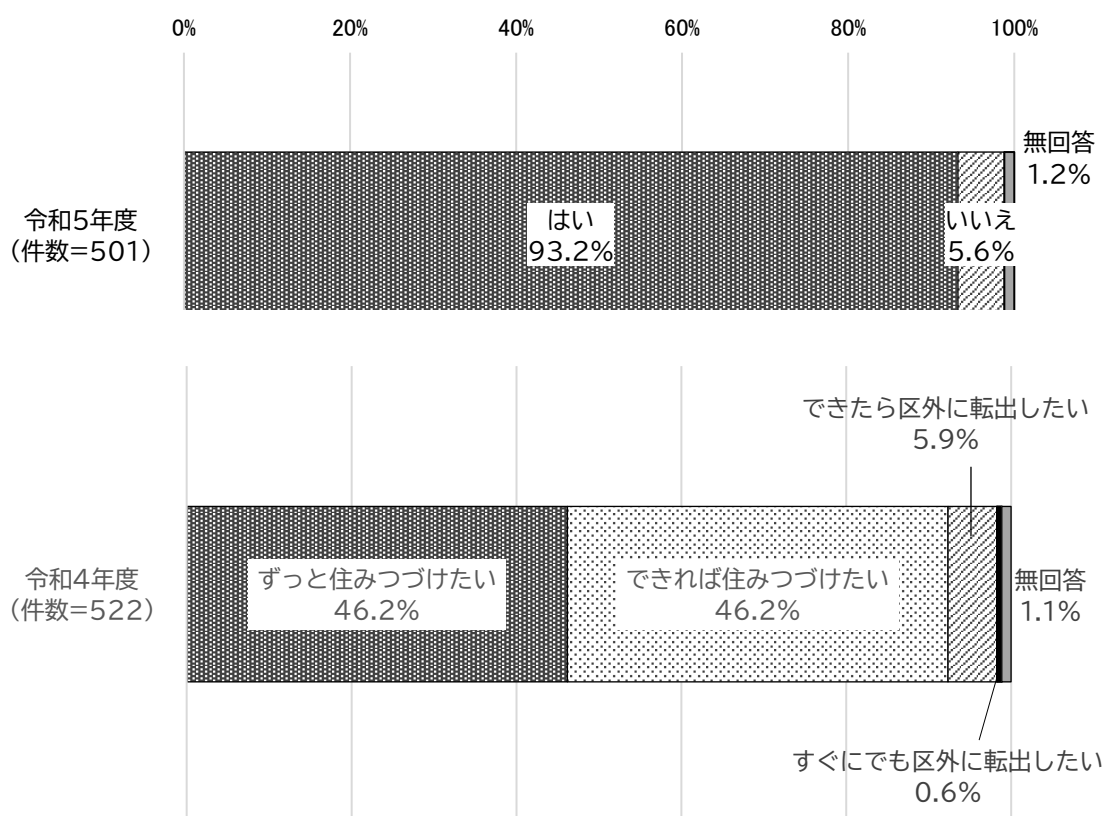


1-2 居住継続意向について

(1) 居住継続意向の有無

- これからも熱田区に住みつづけたいと思うかについては、「はい」と答えた割合は93.2%で、9割以上が住みつづけたいと回答している。
- 昨年度の調査では、「ずっと住みつづけたい」(46.2%)、「できれば住みつづけたい」(46.2%)を合わせた割合は92.4%で、ほとんど差異はみられない。

問5. これからも熱田区に住みつづけたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



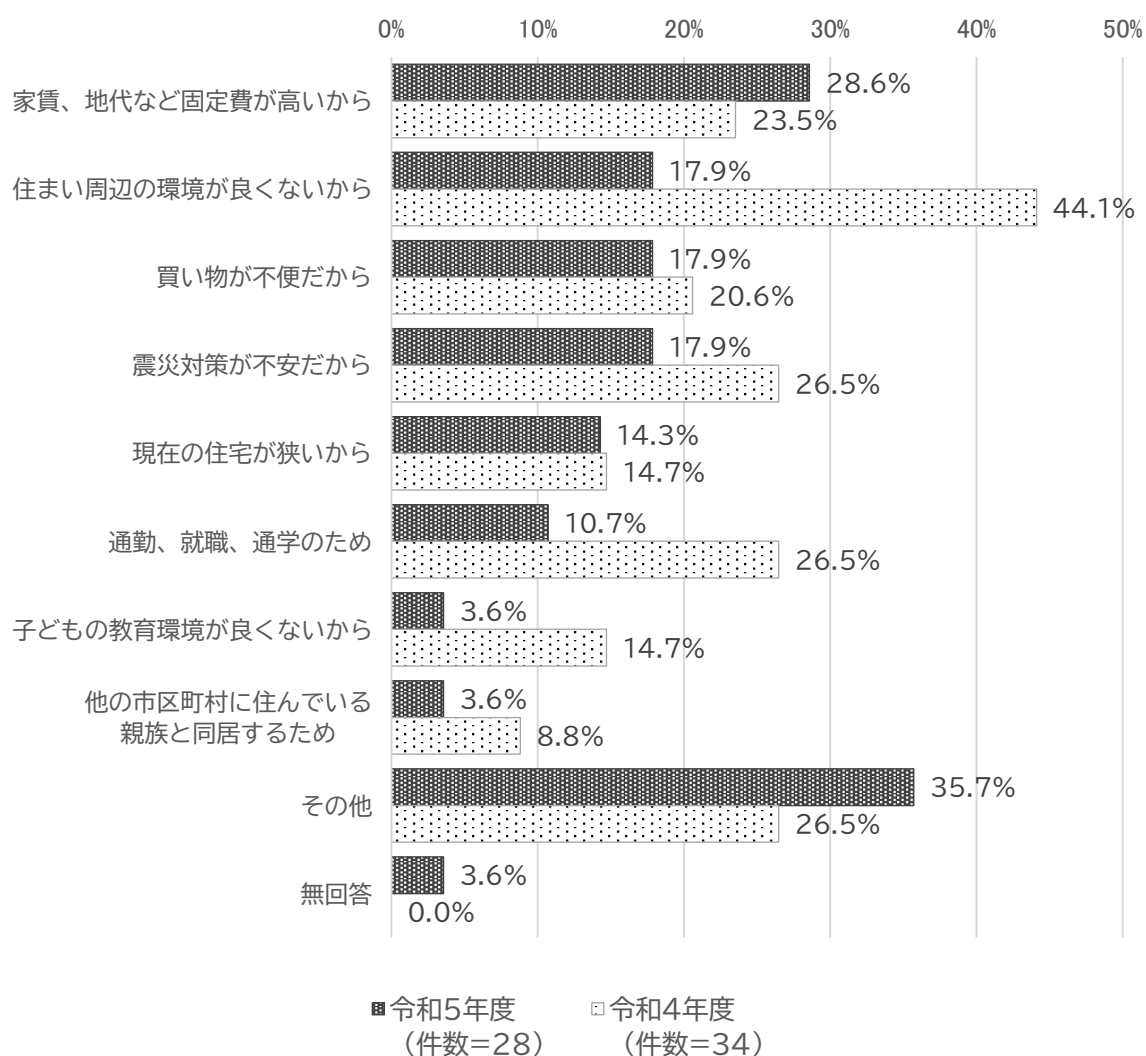
※令和5年度の調査の回答の選択肢は、「はい」、「いいえ」の2つで、令和4年度の調査の回答の選択肢は、「ずっと住みつづけたい」、「できれば住みつづけたい」、「できたら区外に転出したい」、「すぐにでも区外に転出したい」の4つだった。

(2) 区外に転出したい理由

- 住みつづけたくない（いいえ）と回答された方（28名）の理由としては、「家賃、地代など固定費が高いから」が28.6%と最も多く、次いで「住まい周辺の環境が良くないから」、「買い物が不便だから」、「震災対策が不安だから」がいずれも17.9%で続いている。
- 昨年度の調査と比較すると、「住まい周辺の環境が良くないから」の割合が大幅に減っている。

問6.（問5で「2 いいえ」を選んだ方にお聞きします。）

あなたが区外に転出したい理由は何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。



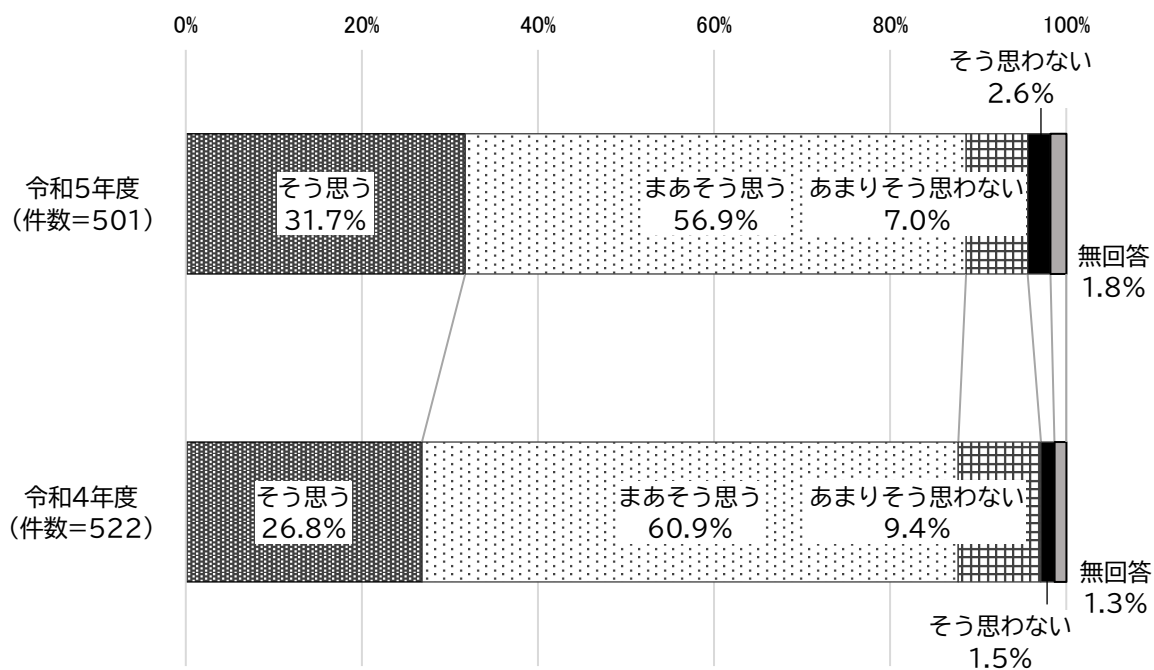
2. 熱田区について

2-1 「安心・安全で快適に暮らせるまち」について

(1) 「安心・安全で快適なまち」か、について

- 「安心・安全で快適なまち」だと思うかについて、「まあそう思う」の割合が56.9%と最も高く、「そう思う」の31.7%と合わせて88.6%と9割近くが肯定的な評価をしている。
- 昨年度の調査では、「そう思う」(26.8%)、「まあそう思う」(60.9%)を合わせて87.7%となっており、差異はみられない。

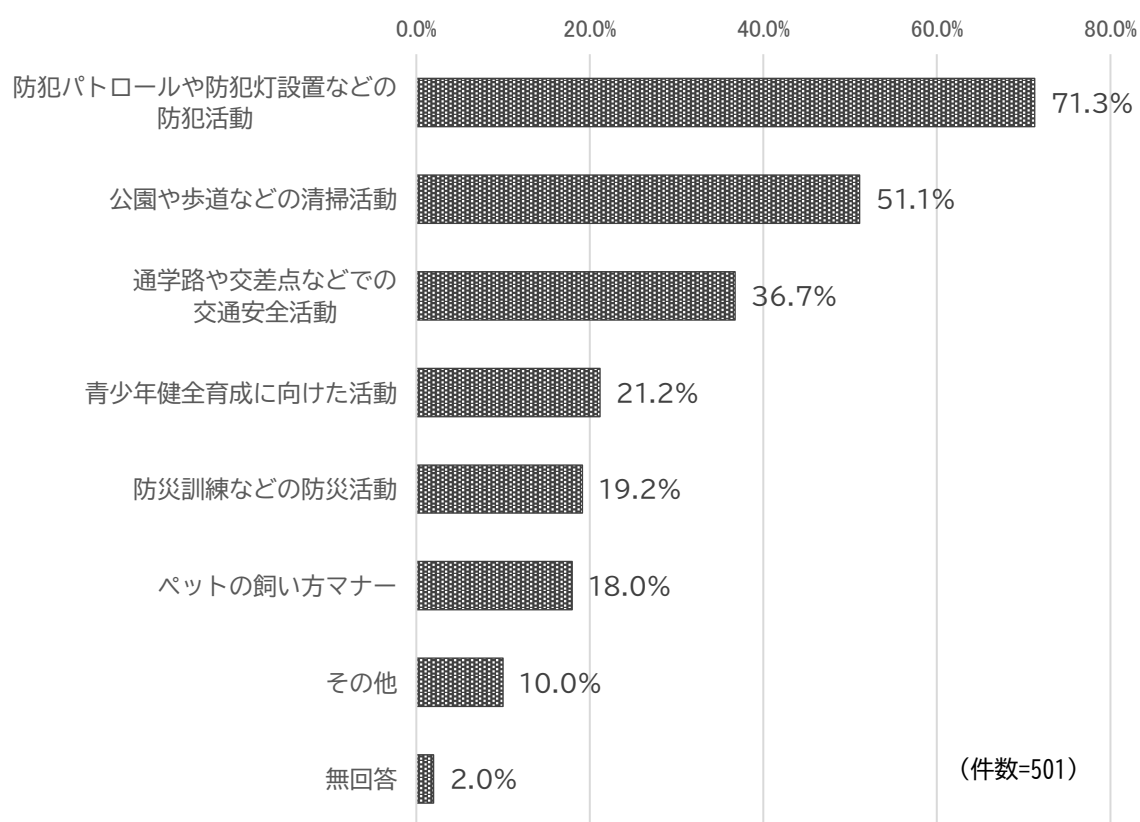
問7. 「安心・安全で快適なまち」だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



(2) 「安心・安全で快適なまち」であるために、力を入れて欲しいこと

○ 「安心・安全で快適なまち」であるために、力を入れて欲しいこととしては、「防犯パトロールや防犯灯設置などの防犯活動」が 71.3%と最も多く、次いで「公園や歩道などの清掃活動」(51.1%)、「通学路や交差点などでの交通安全活動」(36.7%)と続いている。

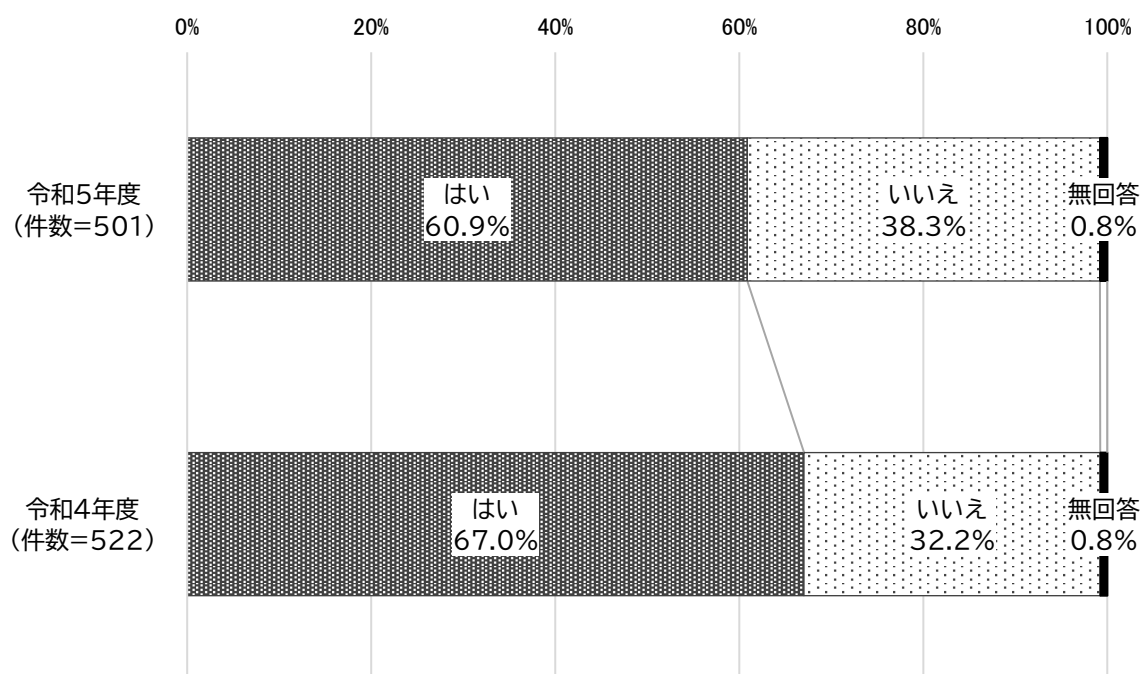
問8. 「安心・安全で快適なまち」であるために、力を入れて欲しいことは何ですか。あてはまるものに3つまで○を付けてください。



(3) 家庭内の災害に対する備えの有無

- 家庭内において、災害に対する備えができているかについては、「はい」が60.9%と約6割となっている。
- 昨年度の調査では、「はい」が67.0%となっており、6.1ポイント減少している。

問9. 家庭内において、災害に対する備えができていますか（家具の転倒防止、水や食料などの備蓄、家族防災会議の実施など）。あてはまるもの1つに○をつけてください。

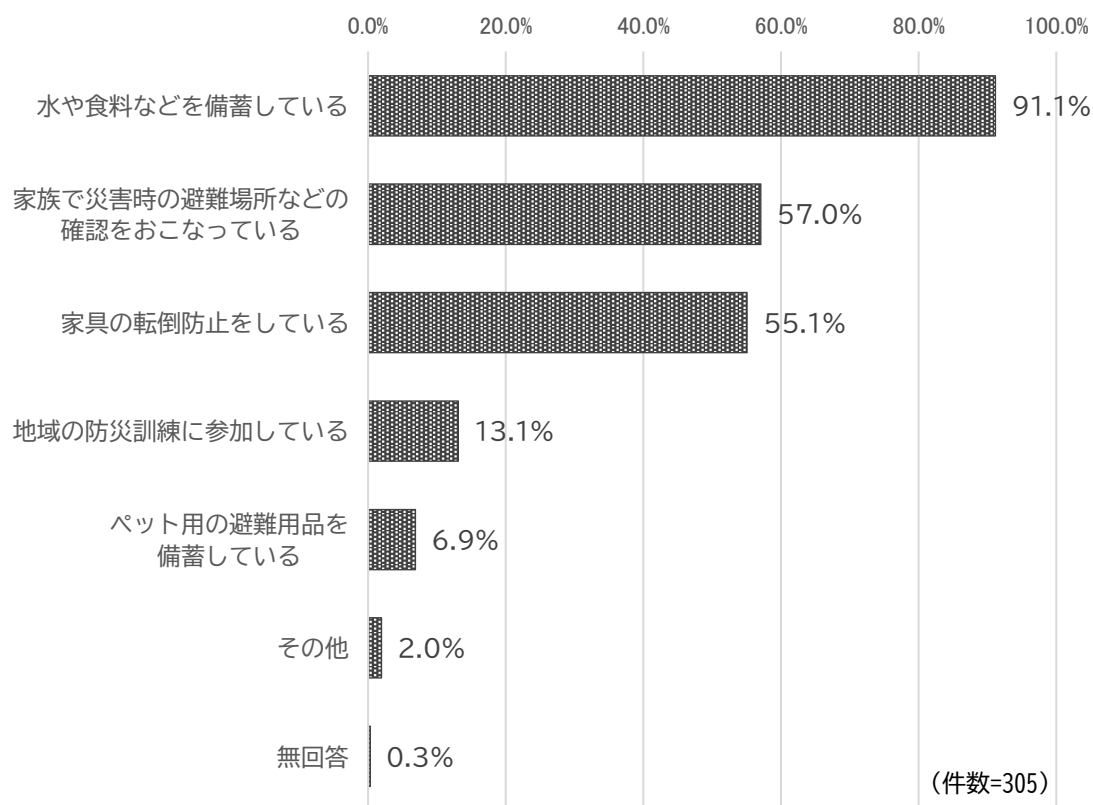


(4) 行っている災害に対する備え

○ 家庭内で災害に対する備えを行っていると回答した方（305名）が、実際に行っている災害に対する備えとしては、「水や食料などを備蓄している」が91.1%と最も多く、次いで、「家族で災害時の避難場所などの確認をおこなっている」（57.0%）、「家具の転倒防止をしている」（55.1%）と続いている。

問10.（問9で「1 はい」と答えた方にお聞きします。）

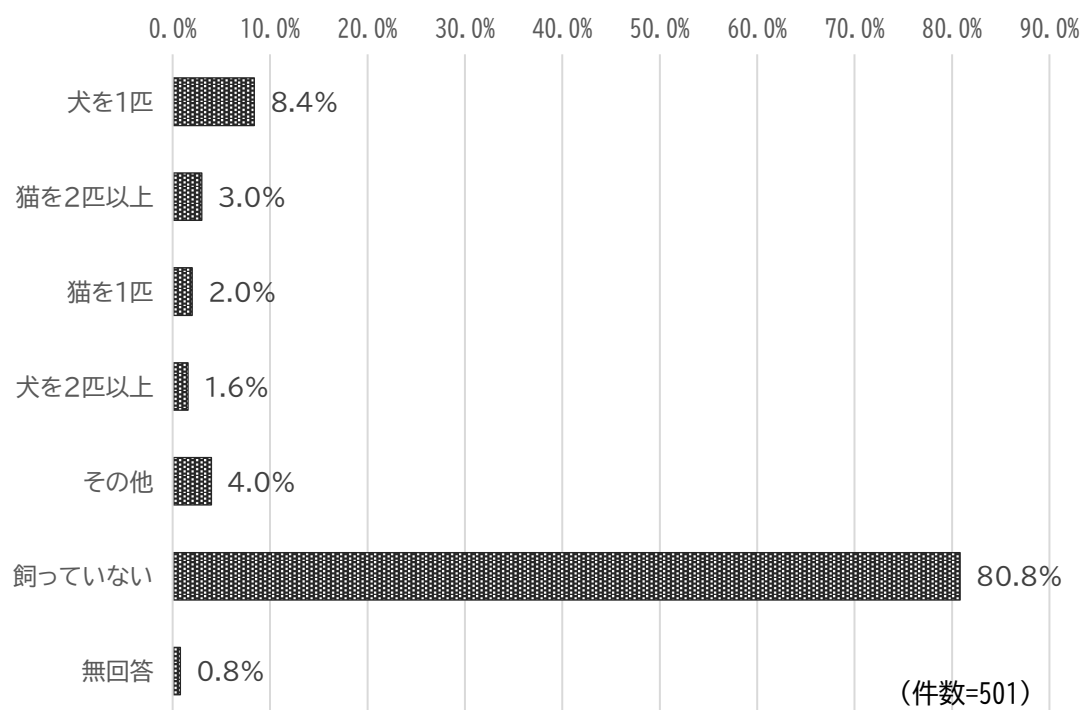
実際に行っている災害に対する備えは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



(5) ペットの有無

○ 自宅でペットを飼っているかについては、飼っていると回答があった中では「犬を1匹」(8.4%)が最も多く、「猫を2匹以上」(3.0%)、「猫を1匹」(2.0%)と続いている。なお、「飼っていない」が80.8%と最も多かった。

問11. 災害時はペットと一緒に避難するなどの対応が必要になりますが、自宅でペットを飼っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

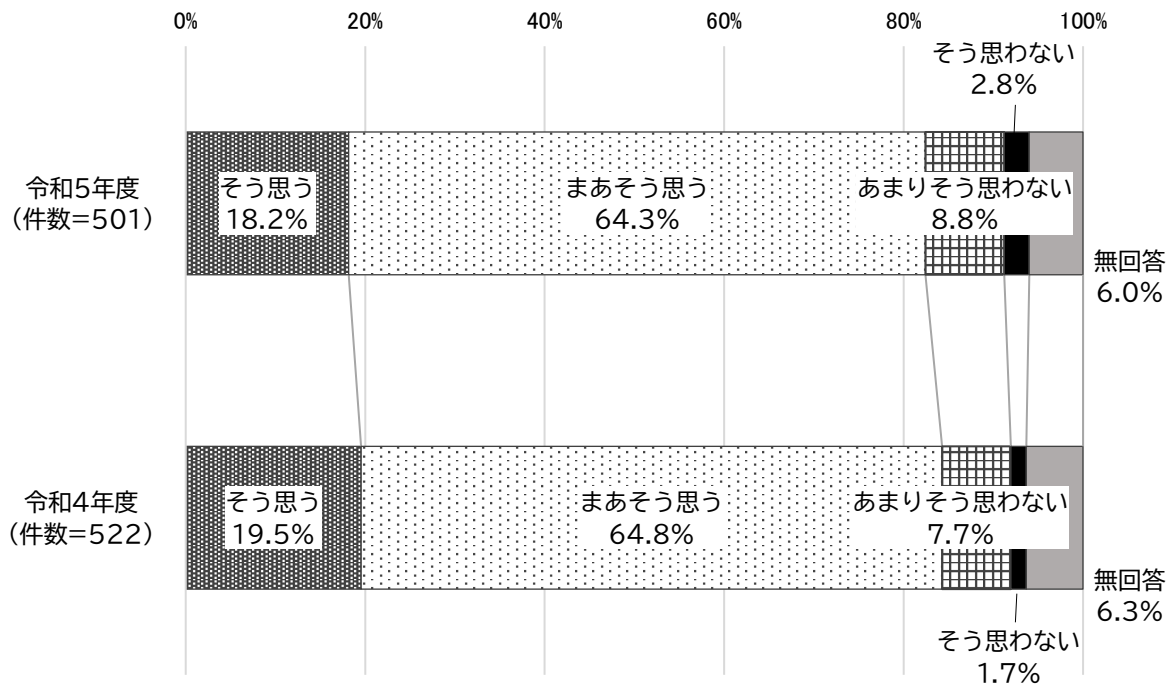


2-2 「人が支えあい、自分らしく暮らせるまち」について

(1) 「子育てしやすいまち」か、について

- 「子育てしやすいまち」だと思うかについては、「まあそう思う」が64.3%と最も高く、「そう思う」の18.2%と合わせて82.5%と8割以上が肯定的な評価をしている。
- 昨年度の調査と比較すると、昨年度は「そう思う」(19.5%)、「まあそう思う」(64.8%)を合わせて84.3%となっており、差異はみられない。

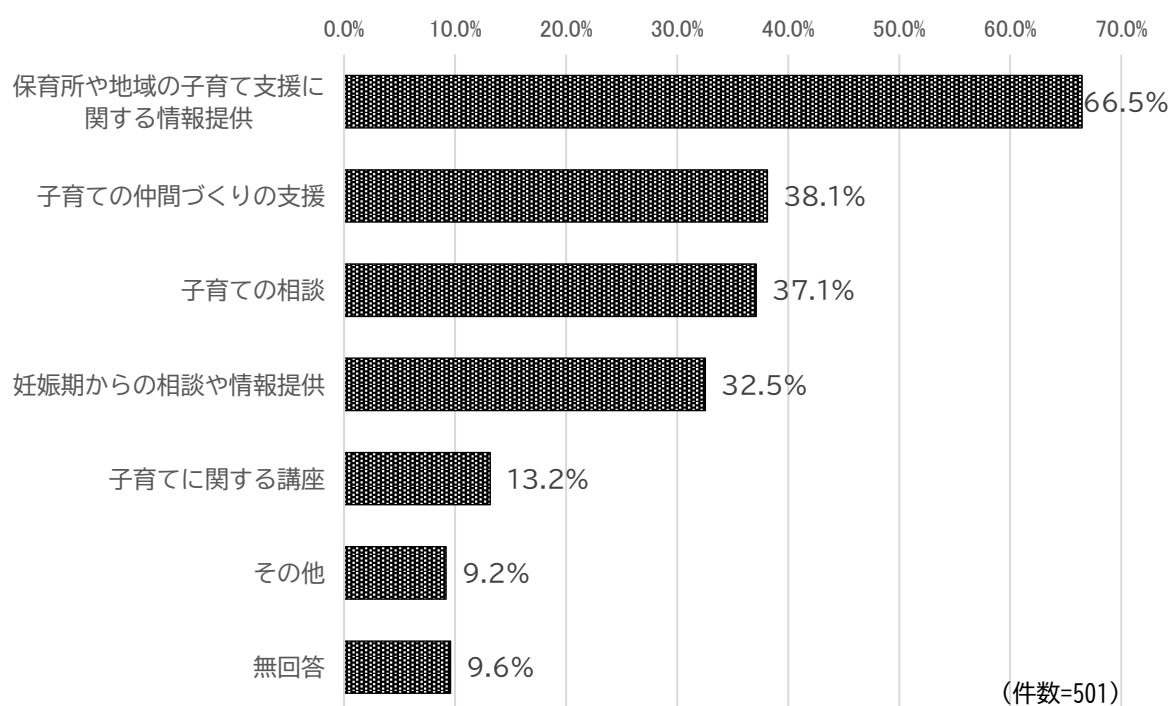
問12. 「子育てがしやすいまち」だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



(2) 「子育てがしやすいまち」であるために、力を入れて欲しいこと

○ 「子育てがしやすいまち」であるために、力を入れて欲しいこととしては、「保育所や地域の子育て支援に関する情報提供」が66.5%と最も多く、次いで、「子育ての仲間づくりの支援」(38.1%)、「子育ての相談」(37.1%)、「妊娠期からの相談や情報提供」(32.5%)と続いている。

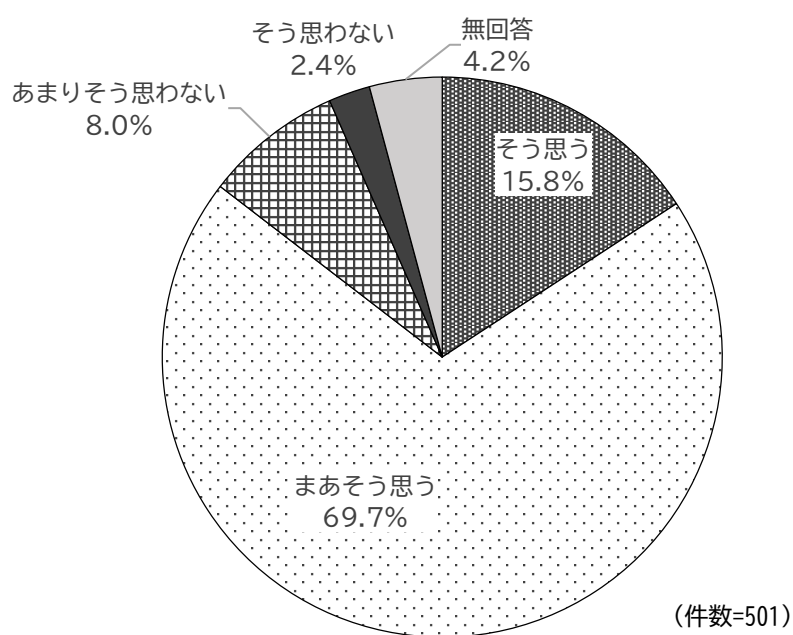
問13. 「子育てがしやすいまち」であるために、力を入れて欲しいことは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。



(3) 「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」か、について

○ 「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」だと思うかについては、「まあそう思う」が69.7%と最も高く、「そう思う」の15.8%と合わせて85.5%が肯定的な評価をしている。

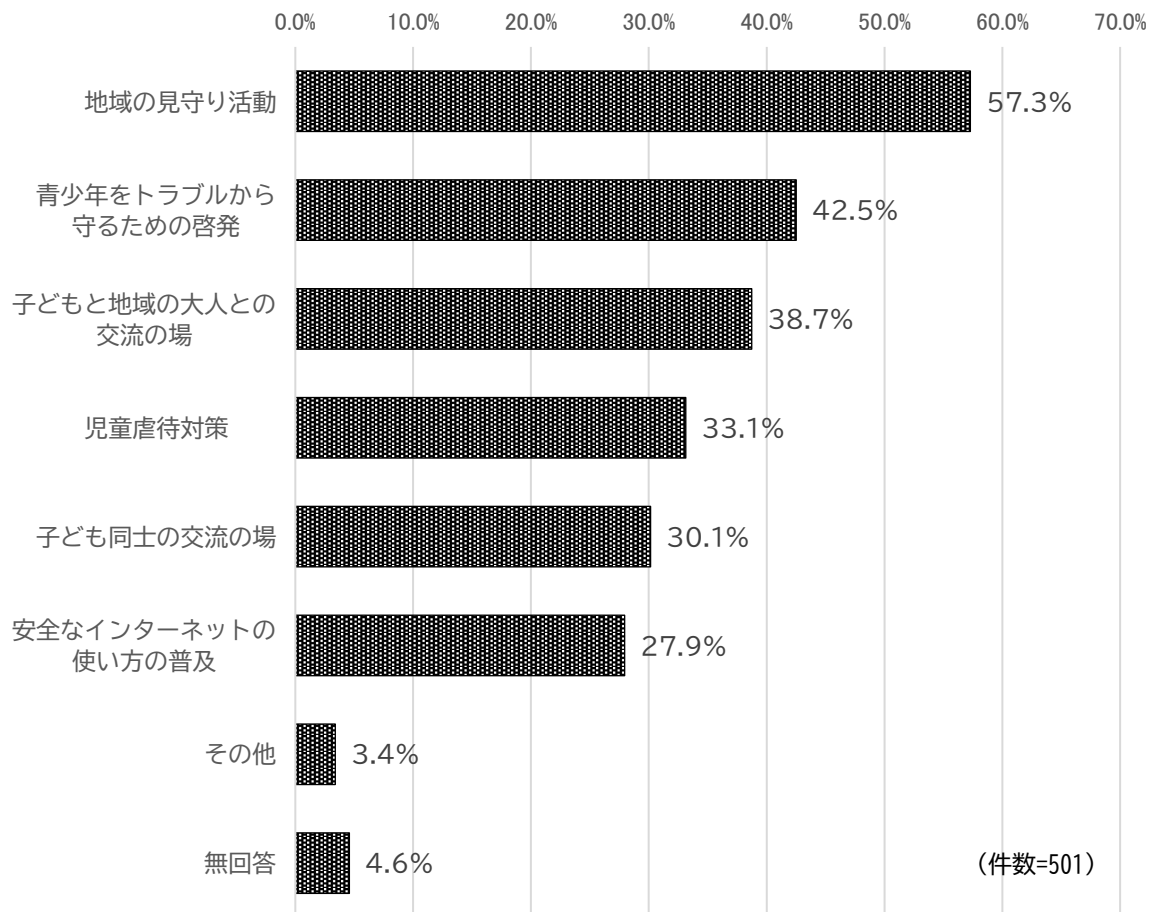
問14. 「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



(4)「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」であるために、力を入れて欲しいこと

○ 「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」であるために、力を入れて欲しいことについては、「地域の見守り活動」が 57.3%と最も多く、次いで、「青少年をトラブルから守るための啓発」(42.5%)、「子どもと地域の大人との交流の場」(38.7%)と続いている。

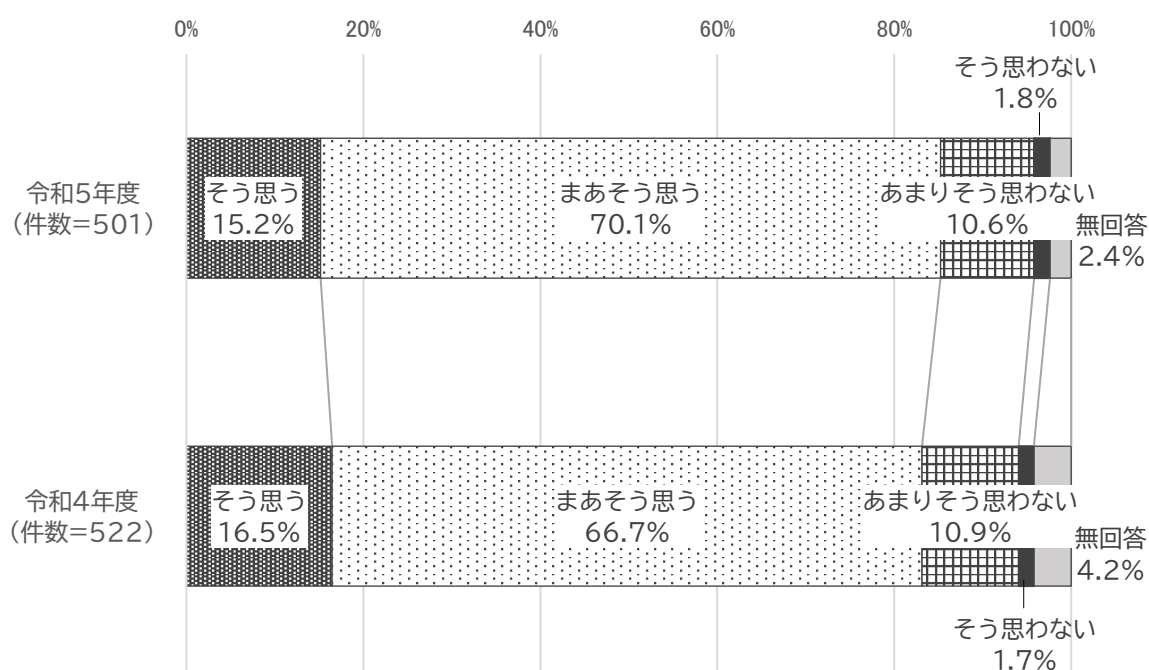
問15.「子どもや若者が安心して健やかに成長できるまち」であるために、力を入れて欲しいことは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。



(5) 「高齢者や障害者が暮らしやすいまち」か、について

- 「高齢者や障害者が暮らしやすいまち」か、については、「まあそう思う」の割合が70.1%と最も高く、「そう思う」の15.2%と合わせて85.3%が肯定的な評価をしている。
- 昨年度の調査では、「そう思う」(16.5%)、「まあそう思う」(66.7%)を合わせて83.2%となっており、今年度は約2ポイント高くなっている。

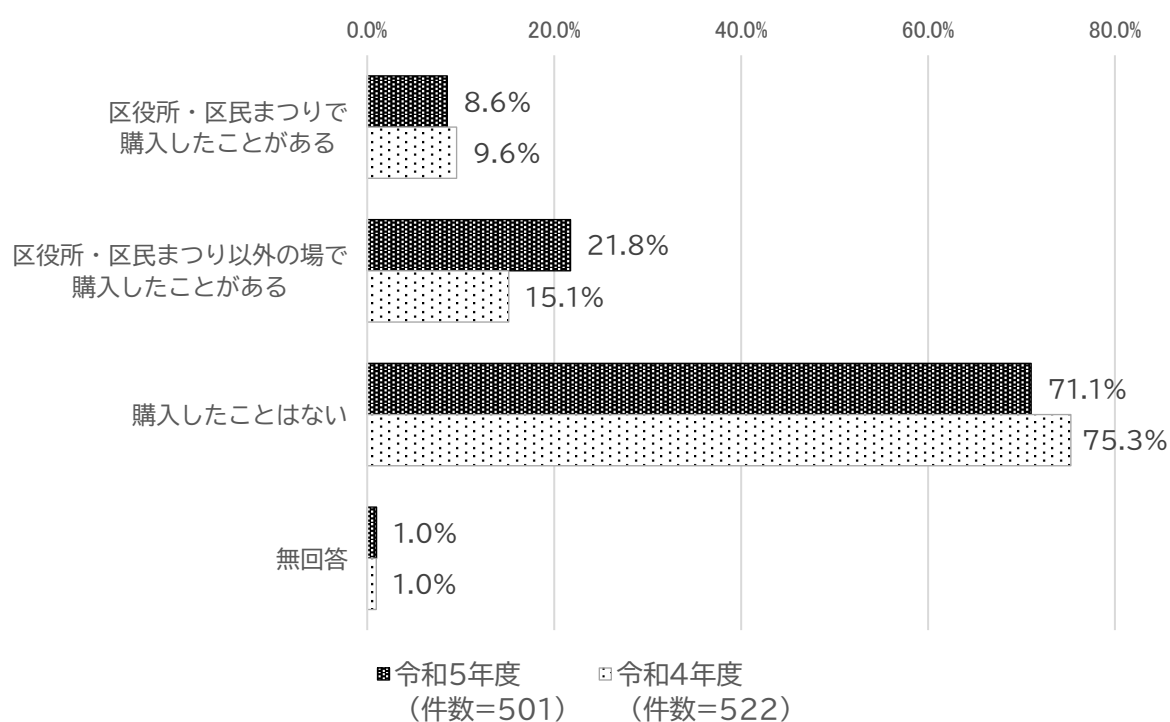
問16. 「高齢者や障害者が暮らしやすいまち」だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



(6) 授産製品の購入経験

- 障害のある方が製作した授産製品の購入については、「区役所・区民まつり以外の場で購入したことがある」が21.8%、「区役所・区民まつりで購入したことがある」が8.6%である。一方、「購入したことがない」は71.1%と7割以上を占めている。
- 昨年度の調査と比較すると、「区役所・区民まつり以外の場で購入したことがある」の割合が、6.7ポイント増加している。

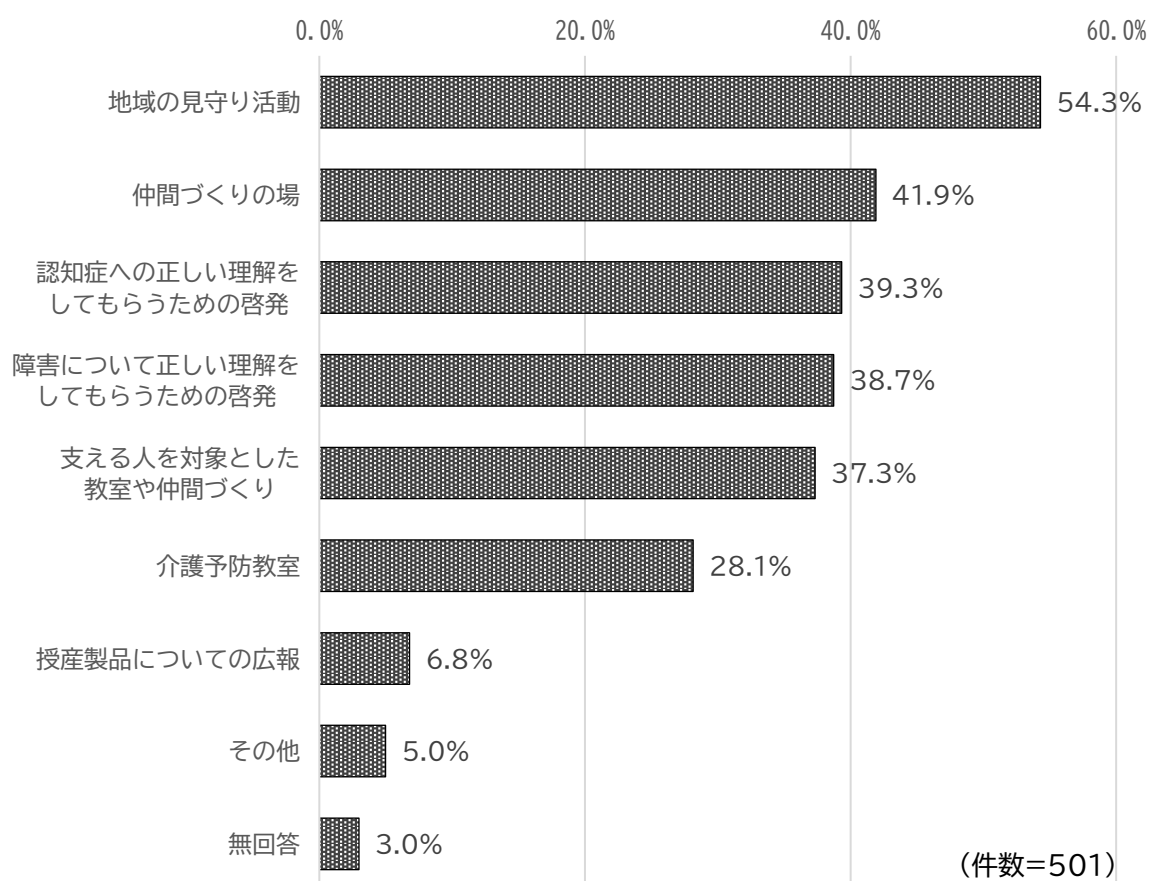
問17. 区役所庁舎内（毎月第2・4金曜日）や区民まつりなどで障害のある方が製作した授産製品を販売しています。あなたは、授産製品を購入したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。



(7) 「高齢者や障害者が暮らしやすいまち」であるために、力を入れて欲しいこと

○ 「高齢者や障害者が暮らしやすいまち」であるために、力を入れて欲しいことについては、「地域の見守り活動」が 54.3%と最も多く、次いで、「仲間づくりの場」(41.9%)、「認知症への正しい理解をしてもらうための啓発」(39.3%)、「障害について正しい理解をってもらうための啓発」(38.7%)と続いている。

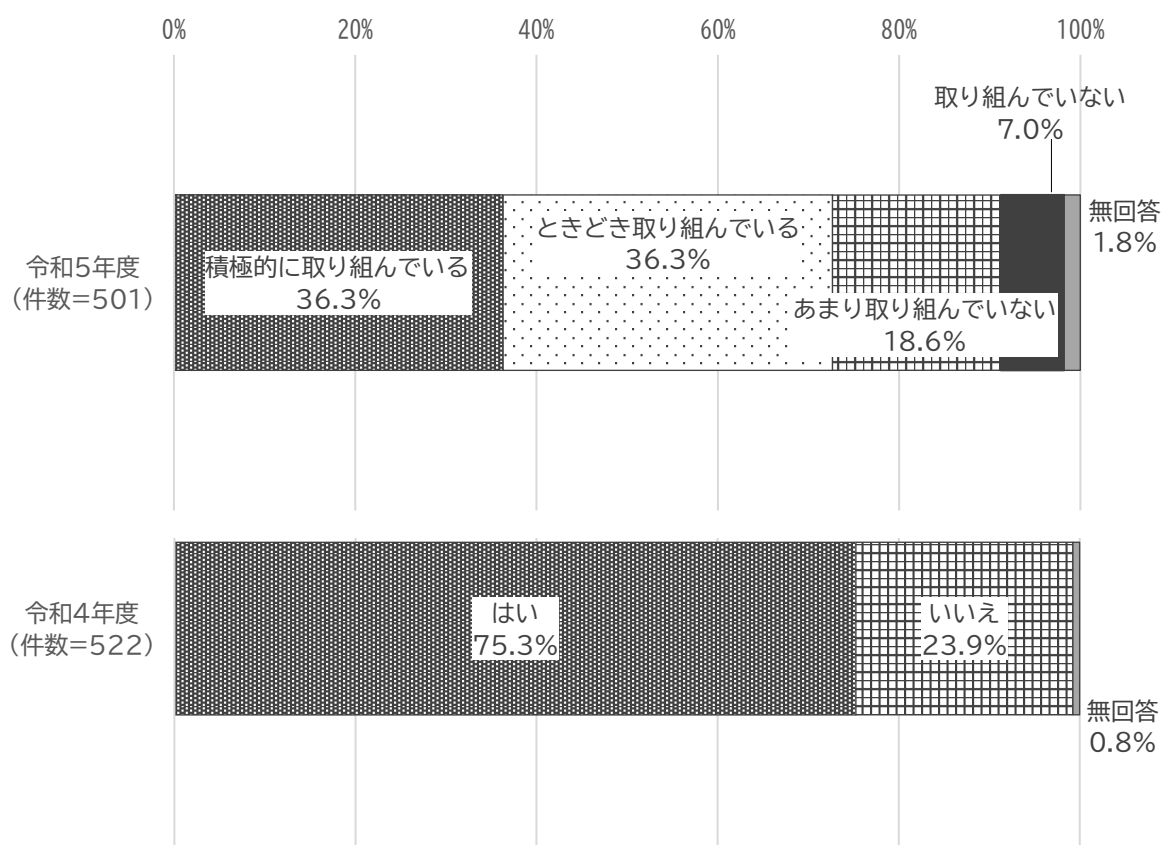
問18. 「高齢者や障害者が暮らしやすいまち」であるために、力を入れて欲しいことは何ですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。



(8) 健康づくりへの取り組みの有無

- 健康づくりへの取り組みについては、「積極的に取り組んでいる」、「ときどき取り組んでいる」がいずれも 36.3%で最も高く、合わせて 72.6%が「取り組んでいる」と回答している。
- 前年度の調査では、「取り組んでいる（はい）」と答えた割合は 75.3%で、2.7ポイント減少している。

問19. 健康づくりに取り組んでいますか（朝食を毎日食べる、睡眠を十分に取る、週に1回以上運動・スポーツを実施しているなど）。あてはまるもの1つに○をつけてください。

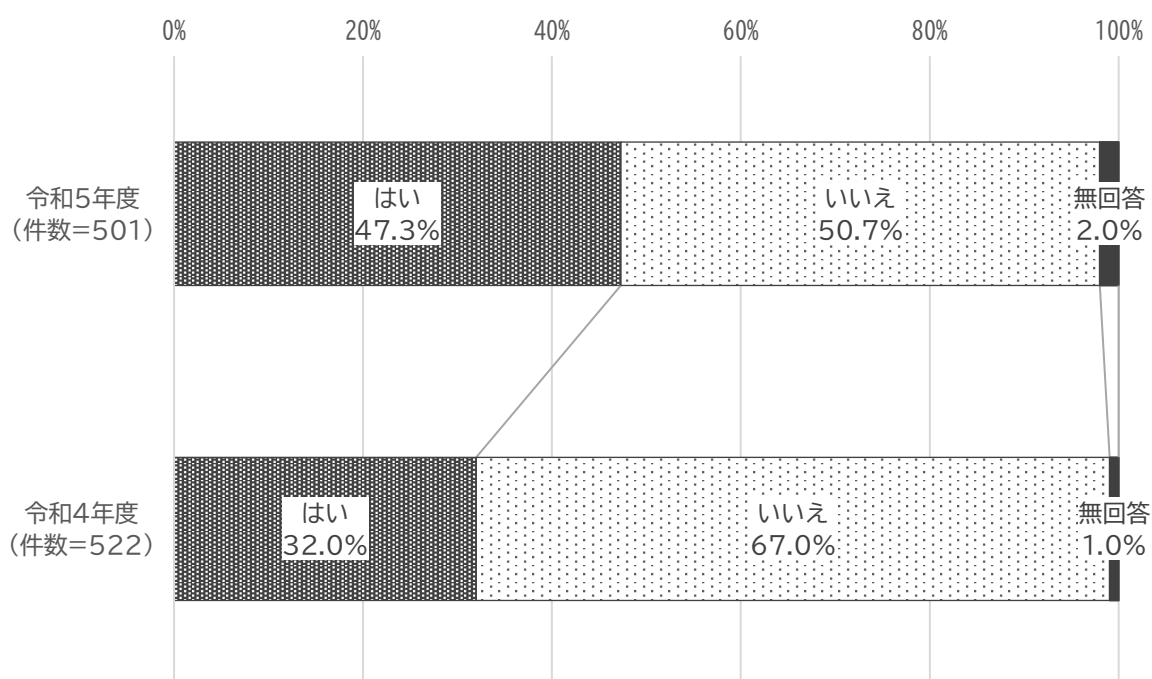


※令和5年度の調査の回答の選択肢は、「積極的に取り組んでいる」、「ときどき取り組んでいる」、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」の4つ、令和4年度の調査の回答の選択肢は、「はい」、「いいえ」の2つ

(9)「フレイル」の認知状況

- 「フレイル」(加齢により心や体が弱ること)という言葉聞いたことがあるかについては、「はい」が47.3%となっている。
- 昨年度の調査と比較すると、「はい」の割合は、15.3ポイント増加している。

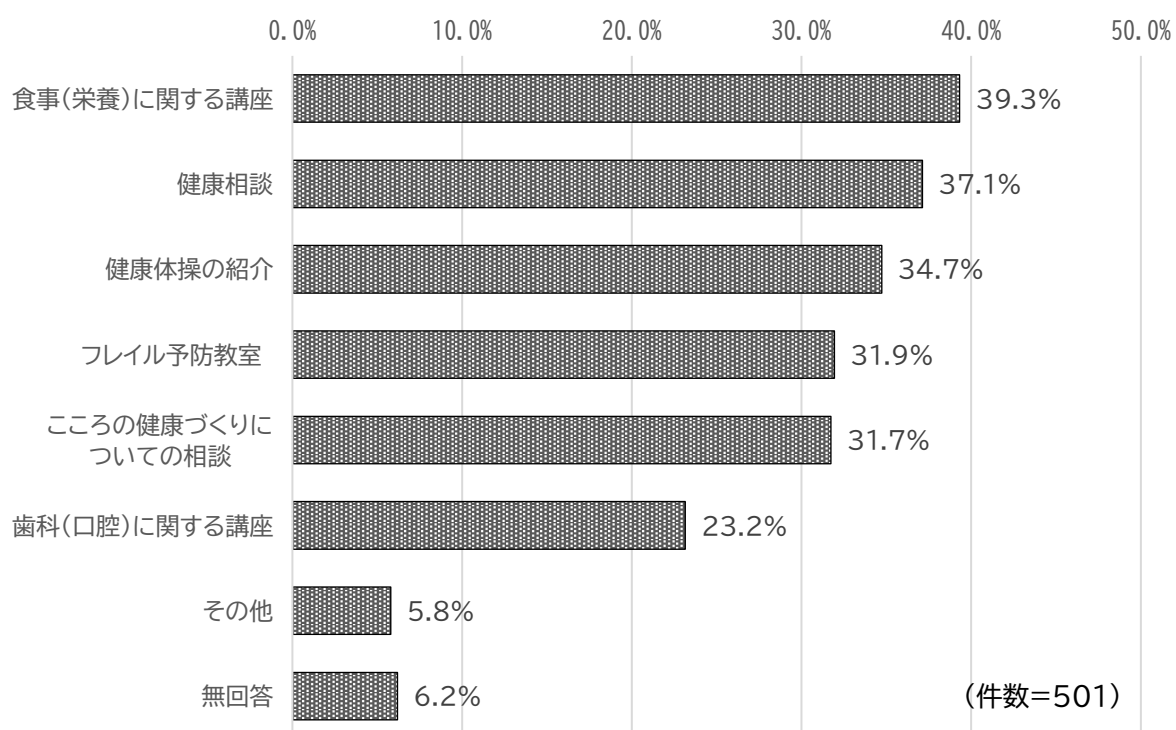
問20. 「フレイル」(加齢により心や体が弱ること)という言葉聞いたことがありますか。



(10) 健康づくりのために、力を入れて欲しいこと

○ 健康づくりのために、力を入れて欲しいことについては、「食事（栄養）に関する講座」が39.3%と最も多く、次いで、「健康相談」（37.1%）、「健康体操の紹介」（34.7%）、「フレイル予防教室」（31.9%）、「こころの健康づくりについての相談」（31.7%）と続いている。

問21. 健康づくりのために、力を入れて欲しいことは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

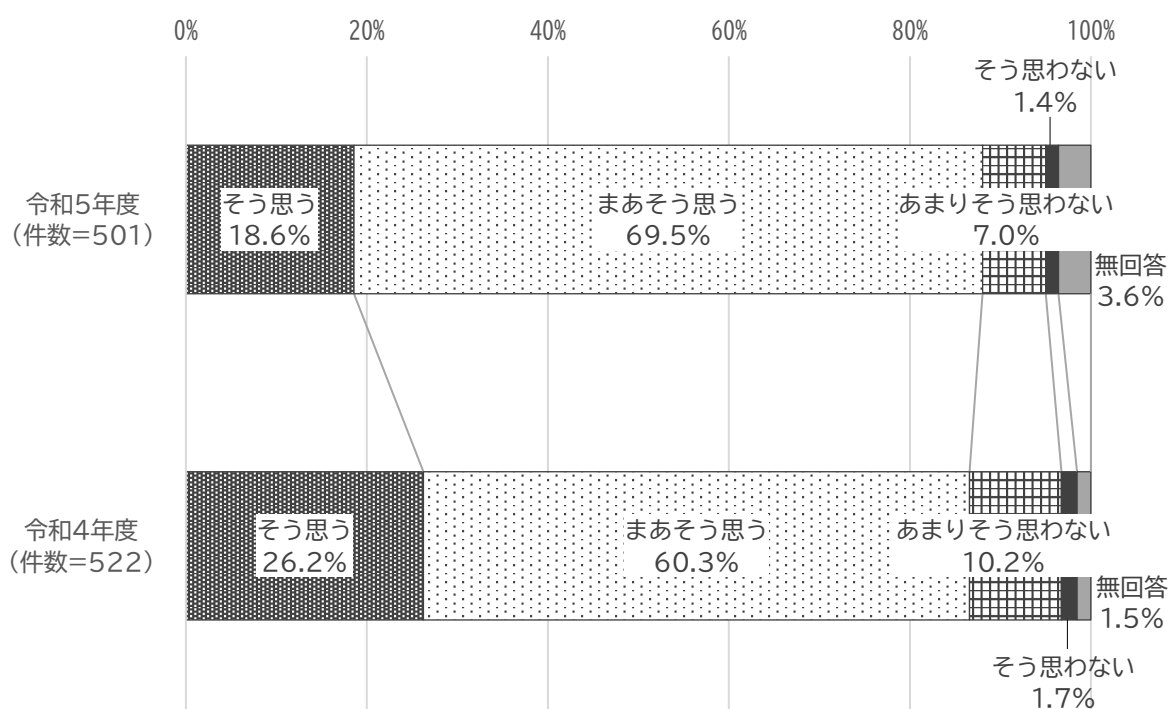


2-3 「生きがいや活力を感じ、魅力あふれるまち」について

(1) 「魅力的なまち」か、について

- 「魅力的なまち」だと思うかについては、「まあそう思う」が69.5%と最も高く、「そう思う」の18.6%と合わせて88.1%が肯定的な評価をしている。
- 昨年度の調査と比較すると、「そう思う」の割合が7.6ポイント減少したが、「そう思う」、「まあそう思う」を合わせると86.5%で、大きな差異はみられない。

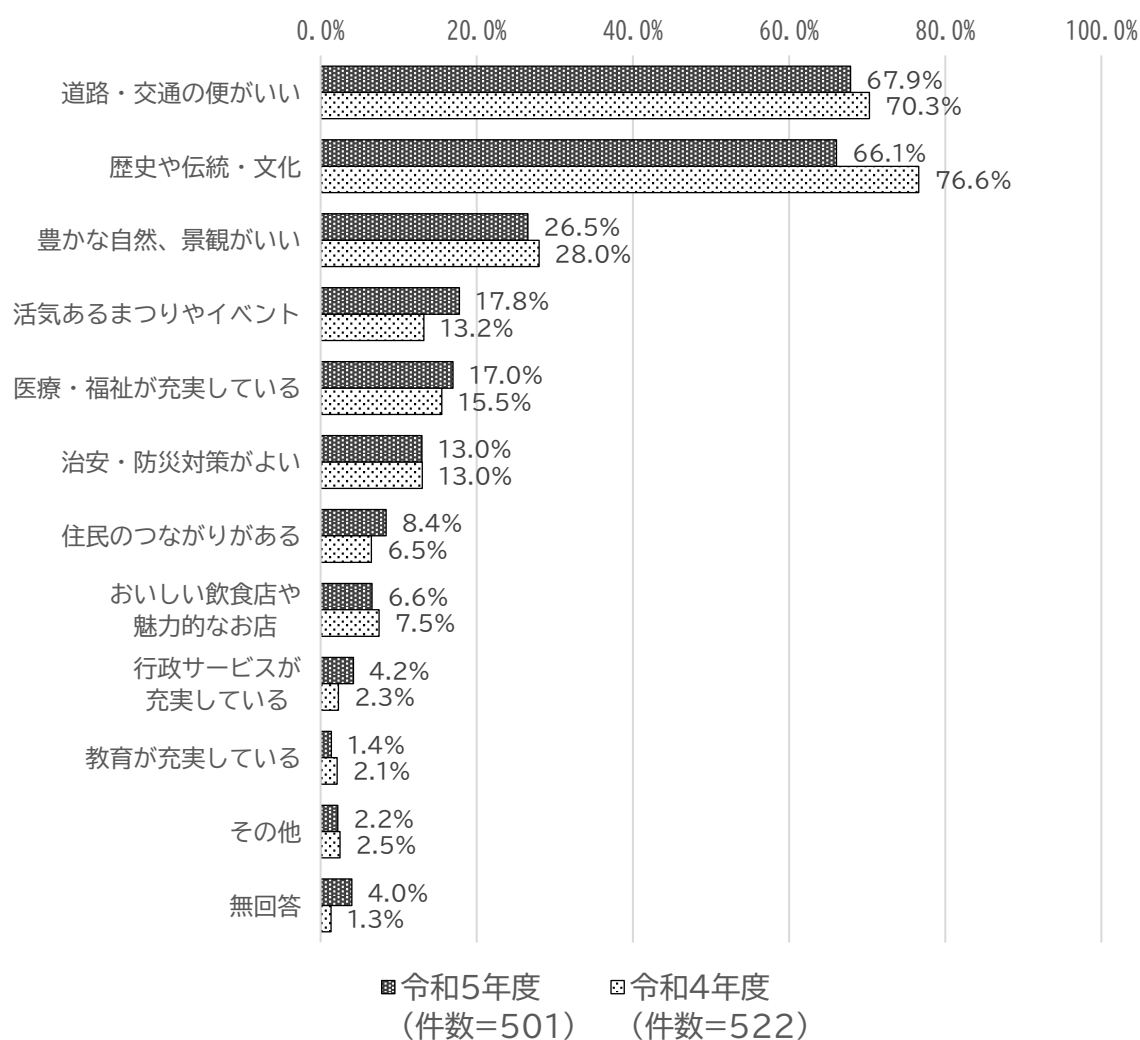
問22. 「魅力的なまち」だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



(2) 熱田区の魅力

- 熱田区の魅力としては、「道路・交通の便がいい」の割合が67.9%で最も多く、次いで、「歴史や伝統・文化」が66.1%と続いている。
- 昨年度の調査と比較すると、最も割合が高かった「歴史や伝統・文化」は10.5ポイント減少している。

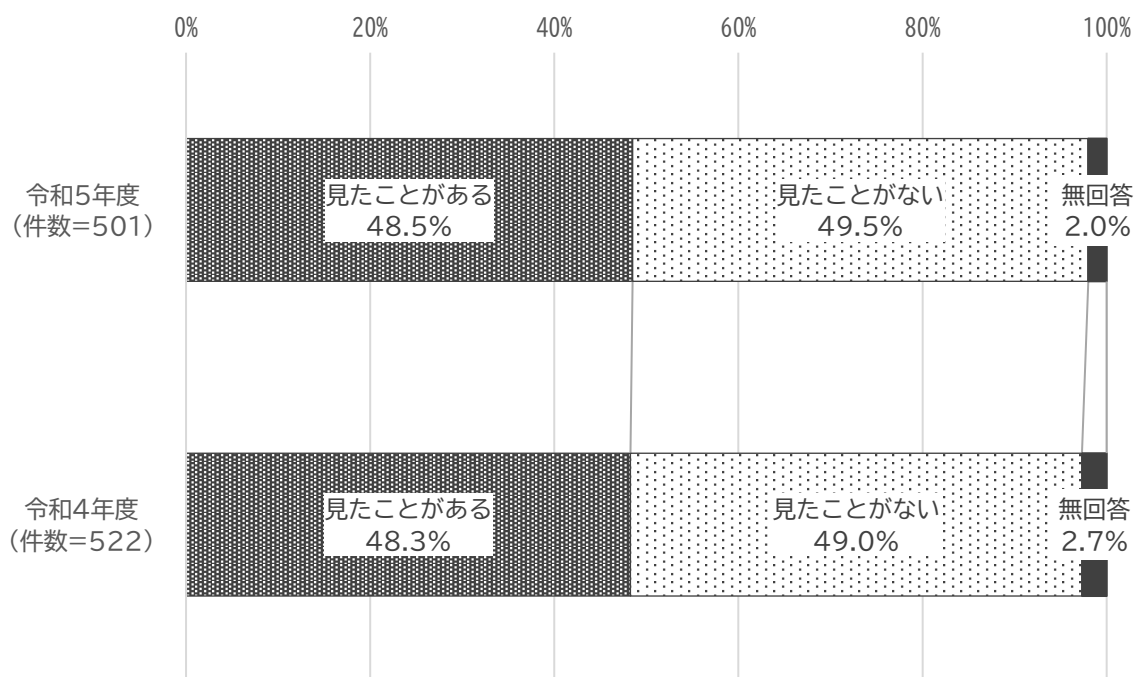
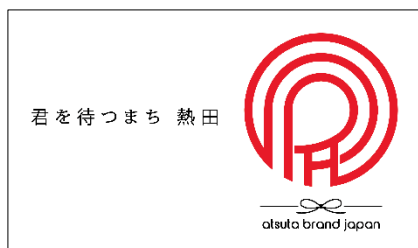
問23. どんなところが魅力的だと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。



(3) 熱田ブランドマークの認知状況

- 熱田ブランドマークを「見たことがある」との回答は48.5%、「見たことがない」との回答は49.5%で、ほぼ半々になっている。
- 昨年度の調査と比較しても、差異はみられない。

問24. 熱田の魅力をお知らせする「熱田ブランドマーク」を見たことがありますか。

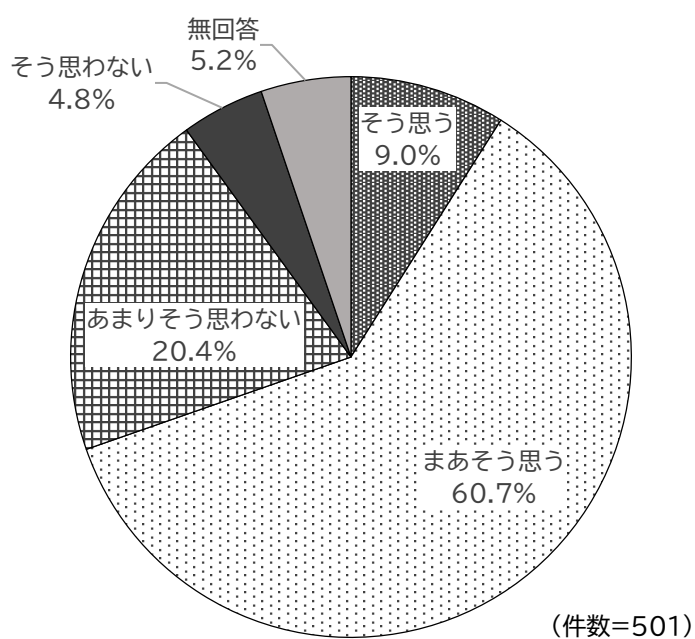


※令和4年度の調査では、「熱田の魅力発信や郷土愛をはぐくむため、熱田ブランド事業を行い、熱田ブランドマークが皆さまの投票により決定しました。あなたは熱田ブランドマークを見たことがありますか。」という質問文で尋ねた。

(4) 地域の住民による地域活動が活発か、について

○ 地域の住民による地域活動が活発か、については、「まあそう思う」の割合が60.7%と最も高く、「そう思う」の9.0%と合わせて69.7%と、約7割が肯定的な評価をしている。

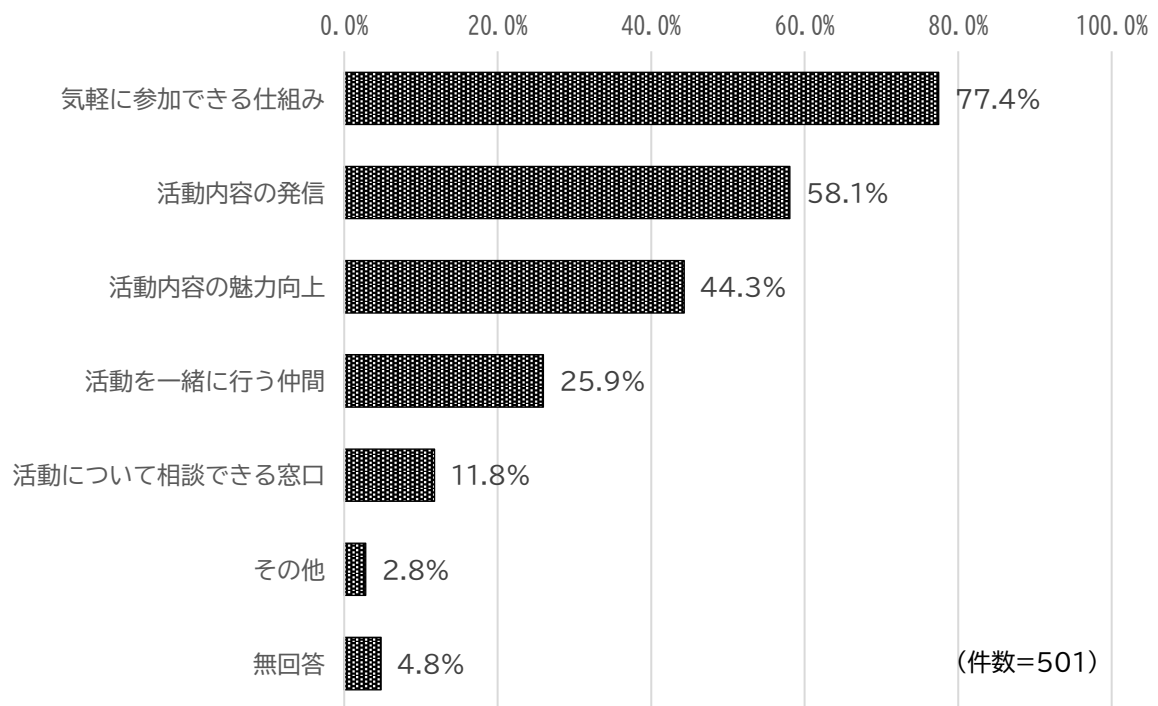
問25. 地域の住民による地域活動が活発に行われていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



(5) 地域活動への参加のために必要なこと

○ より多くの人に地域活動に参加してもらうにはどんなことが必要だと思うか、については、「気軽に参加できる仕組み」が77.4%と最も多く、次いで、「活動内容の発信」(58.1%)、「活動内容の魅力向上」(44.3%)と続いている。

問26. より多くの人に地域活動に参加してもらうにはどんなことが必要だと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

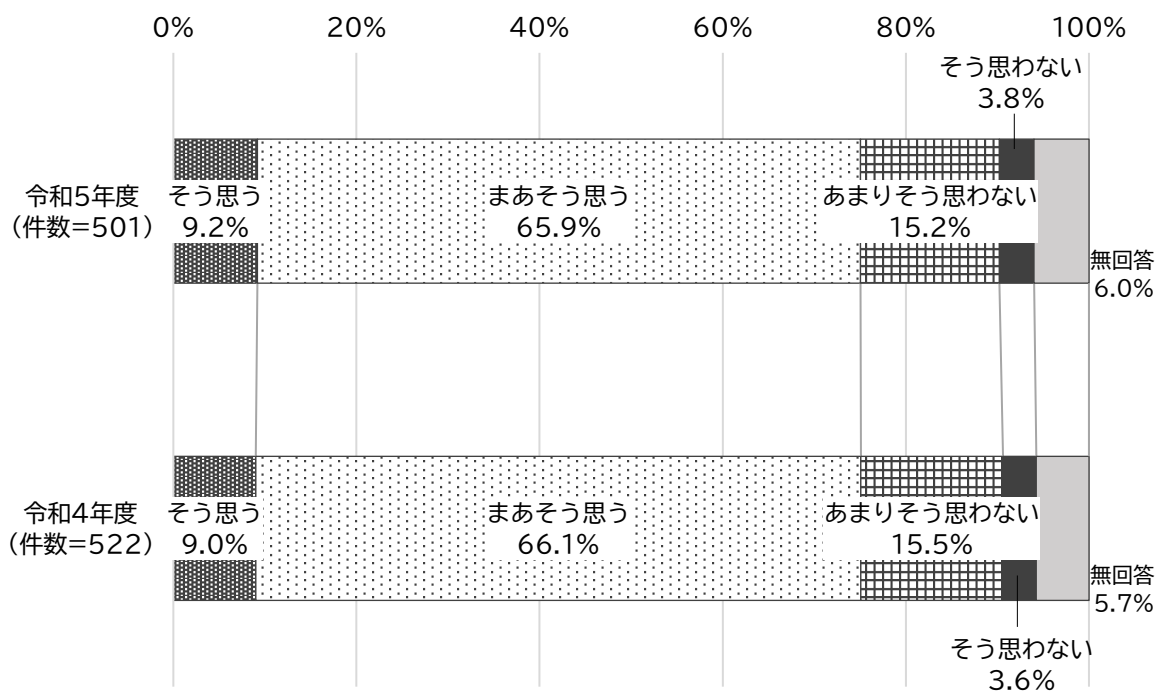


2-4 「区政運営」について

(1) 区民ニーズや課題の把握について

- 区役所は区民のニーズや課題の把握に努めていると思うか、については、「まあそう思う」が65.9%と最も高く、「そう思う」の9.2%と合わせて75.1%が肯定的な評価をしている。
- 昨年度の調査と比較すると、「そう思う」(9.0%)、「まあそう思う」(66.1%)と合わせて75.1%となり、差異はみられない。

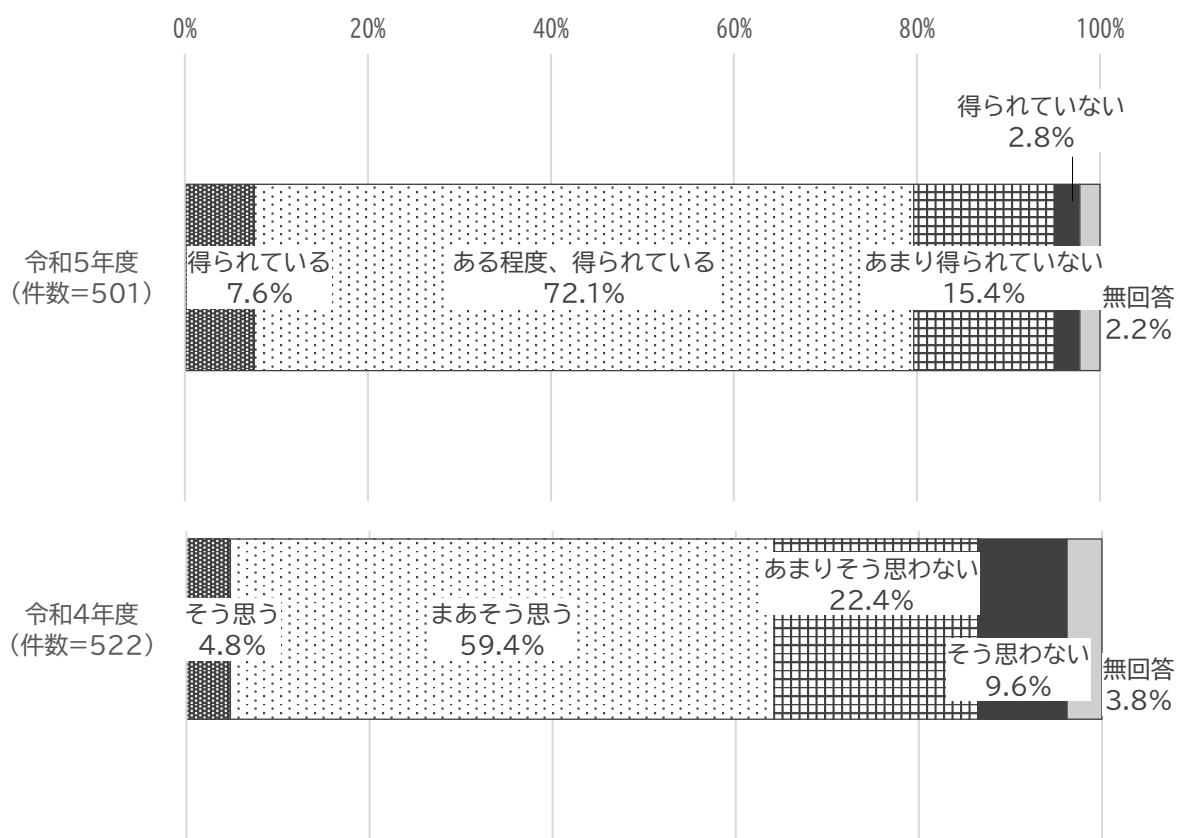
問27. 区役所は区民のニーズや課題の把握に努めていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



(2) 区役所からの情報提供について

○ 区役所が提供する行政サービスについて、知りたい情報が十分に得られているか、については、「ある程度、得られている」が72.1%と最も高く、「得られている」の7.6%と合わせて79.7%が、肯定的な評価をしている。

問28. 区役所が提供する行政サービスについて、知りたい情報が十分に得られていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



※令和4年度の調査では、「あなたは、区政に関する情報が十分に得られていると思いますか。」という質問文で尋ね、回答の選択肢は、「そう思う」、「まあそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4つだった。

3. ご意見・ご要望等（自由記入）

問29. 熱田区をさらに魅力あふれるまちにするために取り組むべき施策などがありましたら、ご自由にお書きください。

熱田区に対するご意見を自由に記入していただいたところ、153件のご意見をいただきました。

18歳から29歳まで	9件
30歳から39歳まで	19件
40歳から49歳まで	27件
50歳から59歳まで	26件
60歳から69歳まで	34件
70歳から79歳まで	21件
80歳以上	16件
その他（年齢不詳）	1件

いただいたご意見は、熱田区役所ウェブサイトにて掲載しています。

【ウェブサイトアドレス】 <https://www.city.nagoya.jp/atsuta/>

お問い合わせ先：熱田区役所企画経理室

〒456-8501 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号

TEL: (052)683-9688

FAX: (052)682-1496

E-mail: a6839686@atsuta.city.nagoya.lg.jp